稲作だより　第１号

令和６年７月１１日 発行
福岡市農業指導センター

北部九州の梅雨入りは平年より 13 日程度遅い６/17 頃、梅雨明けは７月中旬以降の見込です。６月の降水量は平年に比べ約１割超で田植え作業は、概ね順調に進みました。今後、晴天が続く予報ですので田面が乾燥し過ぎないよう、水管理に留意しましょう。今回は、出穂期までの管理についてお知らせします。

１．気象及び生育概況

・気象概況　　各項目、概ね平年値に近い水準で推移しています。
・早期水稲　　概ね生育順調で７月下旬に出穂期を迎えます。
・普通期水稲　　概ね生育順調ですが、一部でジャンボタニシによる食害がみられます。

	６月１～３０日　（観測地点：前原）				
	平均気温（℃）	最高気温（℃）	最低気温（℃）	降水量（㎜）	日照時間（ｈ）
令和６年	２３．４	２７．９	１９．８	２１３．５	１５２．０
平 年 値	２３．１	２７．３	１９．５	１９０．６	１５０．７
平 年 差	＋０．３	＋０．６	＋０．３	＋２２．９	＋１．３

２．出穂期予測と穂肥時期

出穂期とは、圃場全体の４～５割の穂が出た日です。今年の出穂期は平年並みの予測です。穂肥は出穂期の概ね２０日前に行いましょう。

１）元肥一発型肥料（LP444 など）

基本的に穂肥は不要です。葉色が薄い場合は、グリーンセンターにご相談下さい。

２）慣行肥料（赤とんぼの里など）

下表を目安にして、出穂期予測と稲の姿から穂肥時期を判断しましょう。

●葉色は畔草と同じ位の色の濃さが基準です。
●幼穂長２～５㎜位の頃が化成肥料の施用時期です。
●いもち病の発生、徒長、曇天が続く、葉色が濃い（葉色板 4.0 以上）等の場合は、施用時期を遅らるなど対応が必要です。

		夢つくし	元気つくし	ヒノヒカリ	実りつくし	ヒヨクモチ	夢あおば	笑みたわわ
田植え日		6／ 1 6／10	6／10 6／20	6／10 6／20	6／20	6／20	6／20	6／20
出穂期予測		8／ 3 頃 8／ 8 頃	8／13 頃 8／18 頃	8／23 頃 8／26 頃	8／31 頃	9／ 3 頃	8／19 頃	8／26 頃
穂肥時期	ＮＫ２号 赤とんぼの里	7／14 頃 7／19 頃	7／26 頃 7／31 頃	8／ 4 頃 8／ 6 頃	8／ 9 頃	8／12 頃	7／31 頃	8／7 頃
	有機質肥料 （油かす等）	7／ 8 頃 7／13 頃	7／20 頃 7／25 頃	7／29 頃 7／31 頃	8／1 頃	8／5 頃	7／25 頃	8／1 頃

3．水管理

1）中干し

①中干しの目的は、過剰分げつを抑え、土壌に酸素を送り根を健全化することです。また、土が締まることで倒伏を防止し、病害虫の抑制効果が期待出来ます。

②**中干し開始時期は、株の茎数が坪 50 株植えで 22 本程度、坪 60 株植えで 18 本程度に分げつした頃から**です。少ない場合は、茎数を確保してから開始して下さい。

③田面の乾燥度合いは、足跡がつく程度です。乾き過ぎは根を傷め生育を阻害します。

④中干し後の最初の水入れは、走り水程度とし、以降は間断かん水を行います。中干しが出来なかった圃場は、落水期間を長くした間断かん水を行いましょう。

2）出穂前後

最も水が必要な時期です。出穂前後１週間は湛水状態を保ちましょう。

3）台風対策

脱水・倒伏を防ぐため可能な限り深水管理を行い、台風通過２～３日後に水を入れ替え、間断かん水を行いましょう。

【 溝切について 】

溝切は中干し・間断かん水の効果を高める生産技術です。乗用溝切り機の貸出しを行っています。ご利用希望の方は、最寄のグリーンセンターにお問合せ下さい。

●料金　1,100 円（税込）／１日　　●貸出・返却場所　早良・西グリーンセンター

4．中期除草剤　**※赤とんぼ栽培では使用出来ません**

水田雑草の発生状況に応じて使用を検討しましょう。飼料用米「笑みたわわ」に ウィードコア１キロ粒剤は薬害が生じるため使用出来ません。

対象雑草	除草剤名	使用時期		使用量/10a
ヒエ	クリンチャー1キロ粒剤	移植後7日～ﾉﾋﾞI4葉期	収穫30日前まで	1kg
		移植後25日～ﾉﾋﾞI5葉期	収穫30日前まで	1.5kg
	クリンチャージャンボ	移植後7日～ﾉﾋﾞI4葉期	収穫40日前まで	20ﾊﾟｯｸ
		移植後25日～ﾉﾋﾞI5葉期	収穫40日前まで	30ﾊﾟｯｸ
	トドメMF乳剤	移植後14日～ﾉﾋﾞI7葉期	収穫50日前まで	200ml
広葉 カヤツリグサ	バサグラン粒剤	移植後15日～55日	収穫60日前まで	3～4kg
ヒエ・広葉 カヤツリグサ	ウィードコア1キロ粒剤	移植後7日～ﾉﾋﾞI4葉期	収穫60日前まで	1kg
	クリンチャーバスＭＥ液剤	移植後15日～ﾉﾋﾞI5葉期	収穫50日前まで	1000ml

５．病害虫の発生状況と対策

１）ウンカ

現在、トビイロウンカは平年並み、セジロウンカは平年に比べやや多い飛来が確認されています。今後の天候次第で急増する可能性もあります。注意深く観察して、今後の発生情報を確認して下さい。

令和２年は、７月上旬のトビイロウンカの発生は平年並みでしたが、収穫期直前に大発生し大きな被害をもたらしました。今年も注意が必要です！

【トビイロウンカ】

【イネカメムシ】

２）イネカメムシ

近年、福岡県下で被害が拡大しているカメムシの一種で、本年も発生が確認されています。主に出穂期～穂揃い期に籾の基部を吸汁することから不稔の原因となり、大量発生すると大きな被害をもたらす恐れがあります。防除を必要とする場合は、グリーンセンターにご相談下さい。注意深く観察して、今後の発生情報を確認して下さい。

【斑点米カメムシ】

３）斑点米カメムシ

出穂１０日前までは、こまめな草刈を行いましょう。刈取った草が水路に落ちないように注意して下さい。

４）コブノメイガ

食害は見受けられますが、収量への影響は殆どないことから、防除は不要です。

【コブノメイガ】

５）いもち病

現在の発生状況は「平年並み～やや多い」なっています。

- ●穂肥時期に発生を確認した場合、穂肥を中止するか、施肥量を減らして下さい。
- ●上位葉に発生がある場合は「穂いもち」に進行する恐れがあります。注意が必要です。

【葉いもち病】

稲の生育・病害虫発生状況は圃場毎に異なります。十分に観察を行い状態を把握しましょう。また、畔草は草丈がヒザより伸びないように管理して下さい。
今後の管理については、引き続き「稲作だより２号」等でお知らせします。

稲作農家の皆様へ

JA福岡市

令和６年産 米出荷のお願い

当ＪＡでは、稲作農家の皆様から出荷して頂いた米を『プライベートブランド米』として定期購入のお客様へ、直売所では『今摺り米』として販売しています。

現在、販売予定数に対し出荷契約数が約５００袋不足しています。**当年産の米は、当ＪＡへの出荷にご協力をお願いします**。出荷要件を満たした米は「買取り」を行い約１週間で米代金をお支払いします。出荷に関するお問合せは、最寄のグリーンセンターにお尋ね下さい。

ＪＡ福岡市の『プライベートブランド米』

ヒノヒカリ　夢つくし　元気つくし　実りつくし

博多じょうもんさん市場の『今摺り米』

「環境保全型農業直接支払交付金」
に取り組む生産者を募集します

同交付金は、環境保全に効果の高い取組みに対して国が支援する補助事業です。

【交付金の概要】

１．対象者は、販売農家であること
２．対象農地は、農業振興地域に限る
３．取組み内容と交付金単価
　化学肥料・化学農薬の使用が県基準の５割以下であることが前提です。

取組内容	交付単価（10 a）	要件
レンゲ等の緑肥の作付	6,000 円以内	土壌診断、購入種子の使用、基準播種の順守等
堆肥の施用	4,400 円以内	土壌診断、Ｃ／Ｎ比 10 以上の堆肥施用等
有機農業	12,000 円以内	土壌診断、化学肥料・化学合成農薬を使用しないこと等

４．申請方法や取組み内容に関する問合せは、最寄のグリーンセンターにお尋ね下さい。
５．申込期日：令和６年８月９日（金）まで